

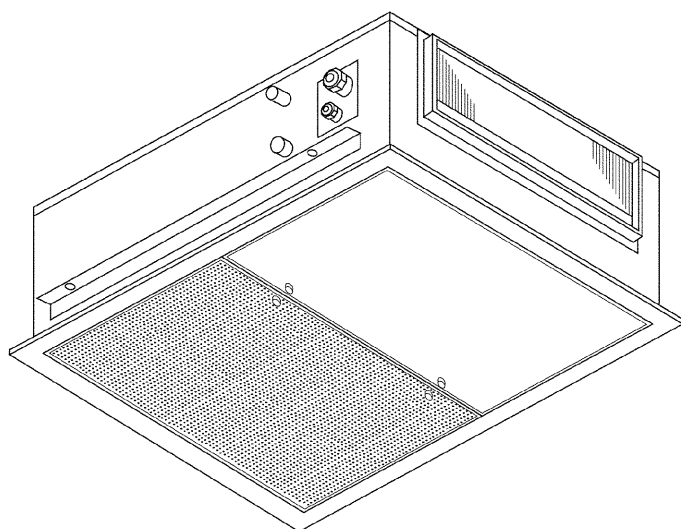
MITSUBISHI

三菱電機フリープランシステム

室内ユニット

PLFY-P・CLMD-E1シリーズ

取扱説明書



もくじ

	ページ
1. 安全のために必ずお守りください	1~4
2. 各部のなまえ	5・6
3. 運転のしかた	7~15
4. お手入れのしかた	16・17
5. こんなときには… Q&A	18・19
6. 保証とアフターサービス	20・21
7. 移設・工事・点検について	21
8. 仕様	22

このたびは三菱電機クリーンルームエアコンをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、正しく安全にお使いいただくため、必ずこの説明書をお読みください。
- お読みになった後は、『据付工事説明書』とともに、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- 保証書は、『お買い上げ日・販売店名』などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- お使いになる方が変わる場合、本書と『据付工事説明書』『保証書』をお渡しください。
- お客さまご自身では、据付・移設をしないでください。(安全や機能の確保ができません。)

1. 安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
△警告、△注意の表示で区分して説明しています。

△警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。
△注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの傷害に結びつくもの。

■“図記号”の意味は次のとおりです。

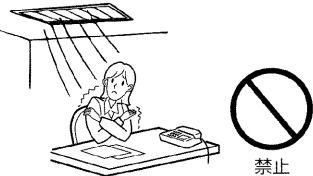
	絶対に行わないでください。
	必ず指示に従ってください。
	必ずアース工事を行ってください。
	回転物に注意してください。 (室外ユニット本体に表示してあります。)
	絶対に水を掛けないでください。
	絶対に濡れた手で触らないでください。

●ご使用时

△警告

長時間直接お肌に風をあてない

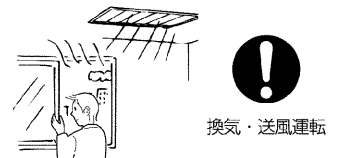
健康を損なう原因になります。



禁止

薬品消毒のあとには、必ず換気をし、 4～5時間送風運転を行う

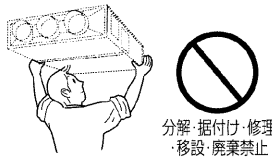
エアコンに付着した薬品が吹き出すおそれがあり危険です。



換気・送風運転

お客さま自身で分解・据付け・修理・移設・廃棄はしない

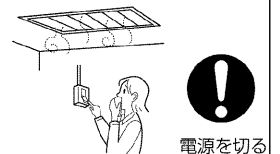
不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。また、冷媒を大気に出すと地球を汚染することになります。お買い上げの販売店にご相談ください。



分解・据付け・修理・移設・廃棄禁止

異常時(異臭・異音・振動大など)は運転を停止して、電源スイッチを切る

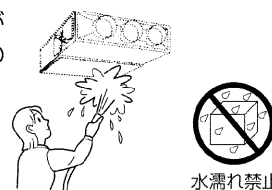
異常のまま運転を続けると感電・火災や故障の原因になります。また、リモコンにエラーコードが出たり、漏電遮断器がたびたび作動する場合もお買い上げの販売店にご連絡ください。



電源を切る

エアコンおよびリモコンを水洗いしない

ユニットおよびリモコン内部に水が浸入して絶縁不良になり、感電の原因になります。



水濡れ禁止

吸込口・吹出口に指や棒などを入れない

特にお子さまにご注意を！

内部でファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。



禁止

濡れた手で電源スイッチを操作しない

感電の原因になります。



濡れ手禁止

パネルやガードを取外さない

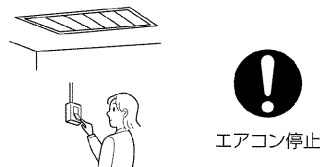
機器の回転物・高温部・高圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。



分解禁止

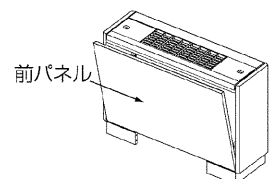
薬品消毒のときには エアコンを停止する

薬品が発散し危険です。



エアコン停止

床置形は前パネルを外しますと、送風機・熱交換器、配線が露出します。外してご使用しないでください。(点検時以外は絶対に外さないでください。)

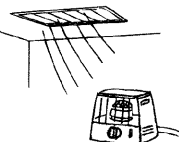


●ご使用時

⚠注意

直接風のあたる所に燃焼器具を置かない

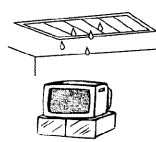
不完全燃焼の原因になります。
エアコンが燃焼器具の熱で変形
することがあります。



設置禁止

室内・室外ユニットの下に濡れて困るものを置かない

冷房時、多湿（湿度80%以上）
時の長時間運転およびホコリなど
によるドレン詰まりにより水が滴
下し、家財などを濡らし汚損の原
因になります。



設置禁止

特殊用途に使用しない

精密機器・食品・動植物・美術品
の保存などに使用しないでくださ
い。品質低下の原因になります。



使用禁止

室外ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない

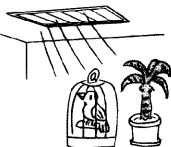
落下・転倒によるケガの原因に
なります。



禁止

直接風があたる所に動植物を置かない

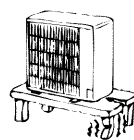
動植物に悪影響を及ぼす原因に
なります。



設置禁止

据付台などがいたんだ状態で放置しない

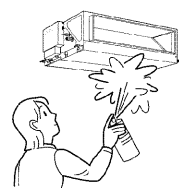
ユニットが落下・転倒し、ケガ
などの原因になります。



放置禁止

殺虫剤・可燃性スプレー
などを吹付けない

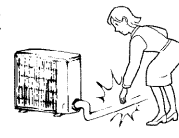
火災・変形の原因になります。



使用禁止

運転中に冷媒配管に触れない

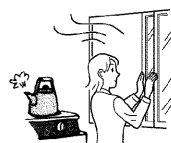
素手で触れると凍傷や、やけどに
なるおそれがあります。



禁止

燃焼器具と一緒に使うときは、こまめに換気する

酸素不足の原因になります。



換気

清掃のときは運転を止め、電源スイッチを切る

運転中はファンが高速で回転し
ており、ケガの原因になります。



電源を切る

フィルターなどの着脱の
ときは不安定な台に乗らない

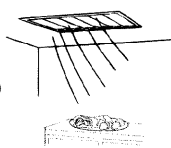
落下・転倒によるケガの原因に
なります。フィルターの清掃は
専門の業者に依頼してください。



禁止

エアコンの下方に食品を置かない。

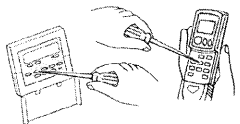
ホコリ・錆などが食品に落ちますと
病気などの原因になります。
食品加工場など食品を扱う場所での
天井設置時は十分ご注意ください。



禁止

リモコンを先がとがった物で押さない。

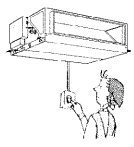
故障の原因になります。



禁止

室内を薬品消毒のときにはエアコンを停止する。

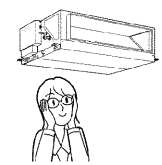
薬品が飛散し危険です。



エアコン停止

フィルターの着脱には、保護具（メガネなど）
を着用する

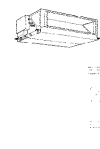
目にゴミ・ホコリが入ることが
あります。フィルターの清掃は
専門の業者に依頼してください。



保護具着用

室内を薬品消毒のあとには、必ず換気をし、4
～5時間送風運転を行う

エアコンに付着した薬品が吹き
出すおそれがあり危険です。



換気・送風運転

長期停止のとき

- ・ 冷房シーズンオフなど長期間で使用にならないときは、4～5時間送風運転して内部を十分乾燥させてください。不衛生な「カビ」が発生して室内ユニット内に付着し、HEPAフィルター寿命を早める原因になります。
- ・ 長期間使用しないときは、「元電源」を“切”にしてください。電源が入っていると、数ワット～数十ワットの電力を消費するためです。また、ホコリなどが溜まって火災の原因になります。
- ・ 運転を開始する12時間以上前に電源を入れてください。また、シーズン中は電源を切らないでください。故障の原因になります。



清掃はこまめに行う

- ・ プレフィルターを外したまま運転しないでください。内部にゴミが詰まり、故障の原因になります。
- ・ プレフィルターの掃除は、リモコンのプレフィルターサインを目安に行ってください。
- ・ プレフィルターを取外すときは、目にホコリが入らないように注意してください。また、踏み台に乗って行うときは、転倒しないようにしてください。
- ・ フィルターの脱着作業は、室内の清浄度に影響が出ないよう、慎重に行ってください。
- ・ フィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。



●据付け時

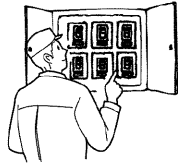
⚠警告

据付けは、お買い上げの販売店または専門業者にご依頼ください。



据付け

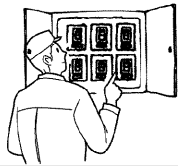
元電源の取付位置を確認する



元電源

電源は専用回路とし、かつ定格の電圧、遮断器を使用する

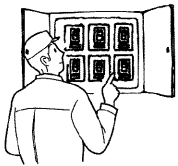
異電圧や容量の大きい遮断器を使用したり、正しい容量のヒューズの代わりに針金や銅線を使用すると、火災・故障の原因になります。



専用回路

漏電遮断器を取付ける

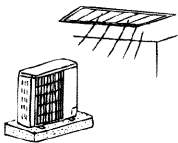
取付けていないと、感電の原因になります。



漏電遮断器

室内・室外ユニットは、堅固な場所に水平に、かつしっかりと固定されていること

ユニットの落下・転倒などによりケガの原因になります。



設置場所

使用される別売部品は当社指定品であること

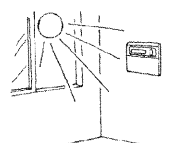
別売部品は、必ず当社指定のものであること。お客さまご自身で取付け不備があると、感電・火災・水漏れなどの原因になります。お買い上げの販売店にご依頼ください。



別売部品

リモコン付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光

があたる場所、湯・油・蒸気が飛散しリモコンに掛かるところには取付け

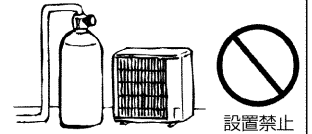


据付禁止

⚠注意

可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へは据付けない

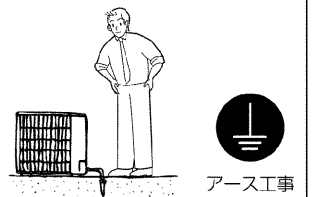
ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になります。



設置禁止

アース工事を行う

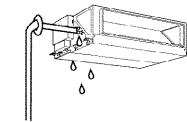
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続されていないこと。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。



アース工事

ドレン配管は確実に

配管工事に不備があると水漏れし、家財などを濡らす原因になります。



排水

●冷媒（フロンガス）についてのご注意

このエアコンには、不燃性・非毒性・無臭の冷媒を使用していますが、これが漏れて火気に触れると有毒ガスが発生することがあります。また、空気より比重が重いので、部屋の中では床面に溜まりやすく酸欠事故の原因になります。

（冷媒が漏れたときの処置）

万一冷媒が漏れたときには、ストーブなどの火を消し、戸を開けるなどして十分換気を行ってください。その後、お買い上げの販売店にご連絡ください。

●次の場所への据付けは避けてください。

本体が腐食しガス漏れしたり、性能を著しく低下させたり、部品が破損することがあります。

- 可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
- 粉や蒸気が多量に発生するところ
- 酢（酢酸）を多量に使用するところ
- 油煙がたちこめるところ
- 温泉地などの硫化（イオウ系）ガスの発生するところ
- 海浜地区など塩分の多いところ
- 積雪により室外ユニットが塞がれるところ

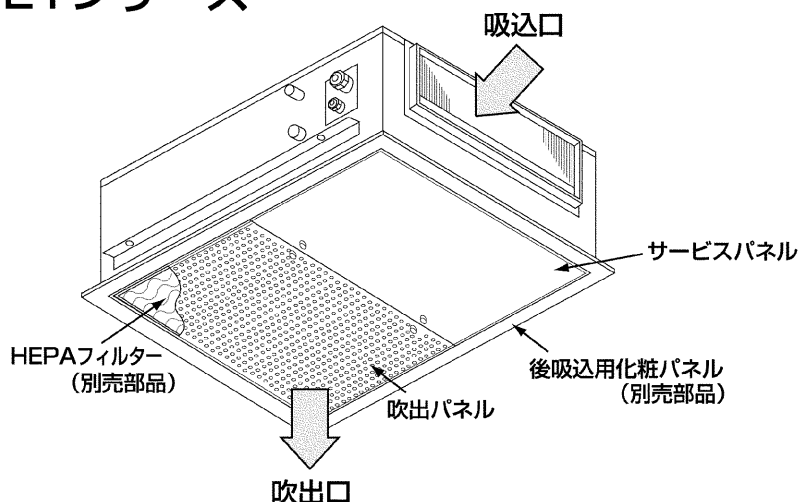
（このページの詳しい説明は、室内ユニットの据付工事）
説明書をご覧ください。

2. 各部のなまえ

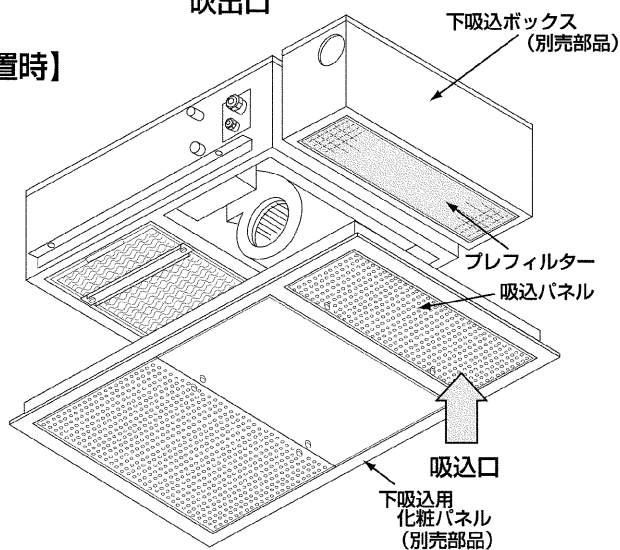
- 吹出口 直径3mmのパンチング鋼板を使用して、吹出パネル全面から空気を吹出します。
- 吸込口 室内の空気を吸込みます。
- HEPAフィルター 集塵効率99.97% (DOP法) の多風量型フィルターです。
- 下吸込ボックス 天井吸込方式とする場合に、本体を組合わせて使用します。
- プレフィルター 下吸込ボックス (別売部品) に標準組込のフィルターは、目に見える程度ホコリやゴミを取除くための簡易フィルターです。(お手入れの仕方は、16ページ)
- サービスパネル 送風機やドレンパンなど、アンダーメンテが可能です。

PLFY-P・CLMD-E1シリーズ

【本体】

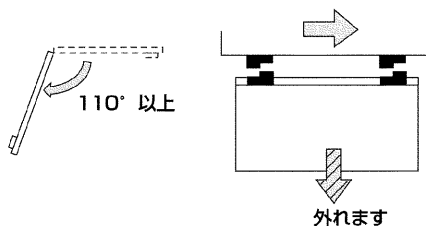


【下吸込ボックス (別売部品) 装置時】

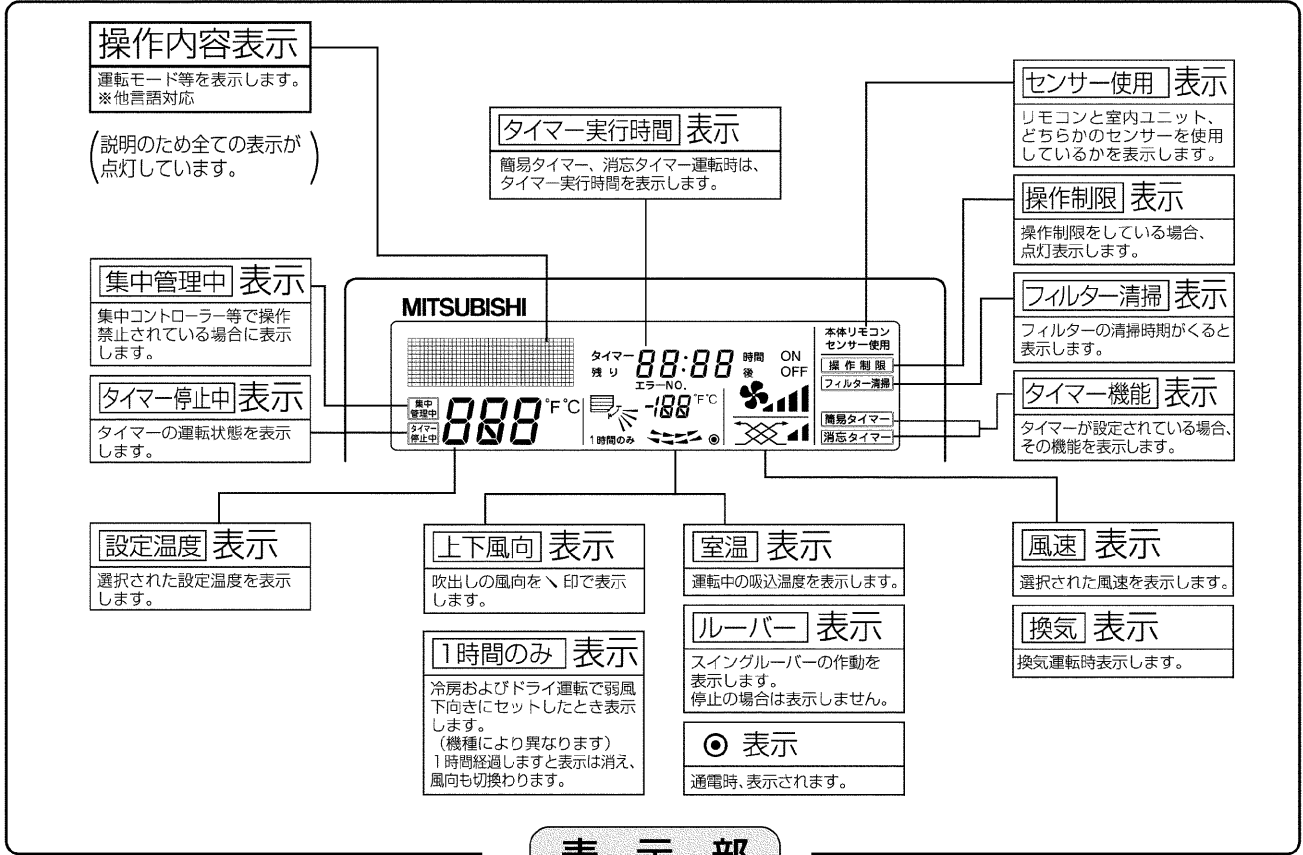


⚠ 注意

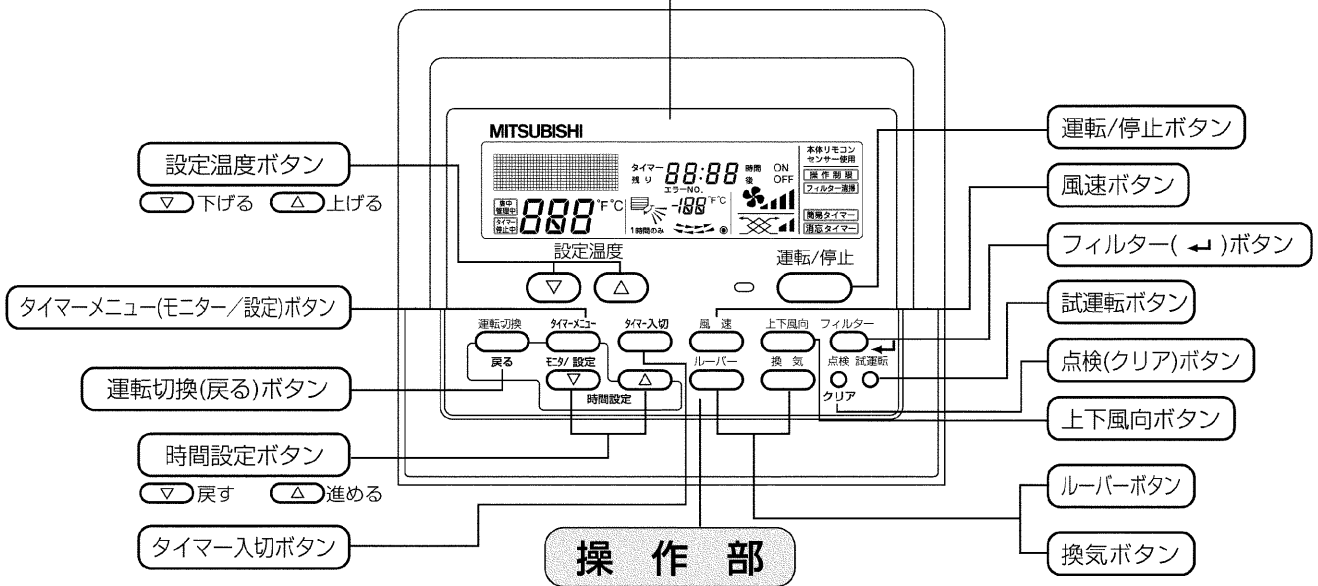
吹出パネル、サービスパネル、および吸込パネルの蝶番は、パネル閉時の水平状態から110°以上開くと、水平方向にスライドさせて取外することができます。誤って落下させると、ケガの原因になります。



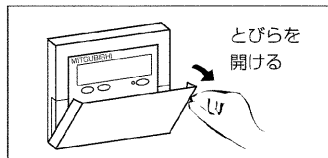
MAスムーズリモコン



表示部



操作部

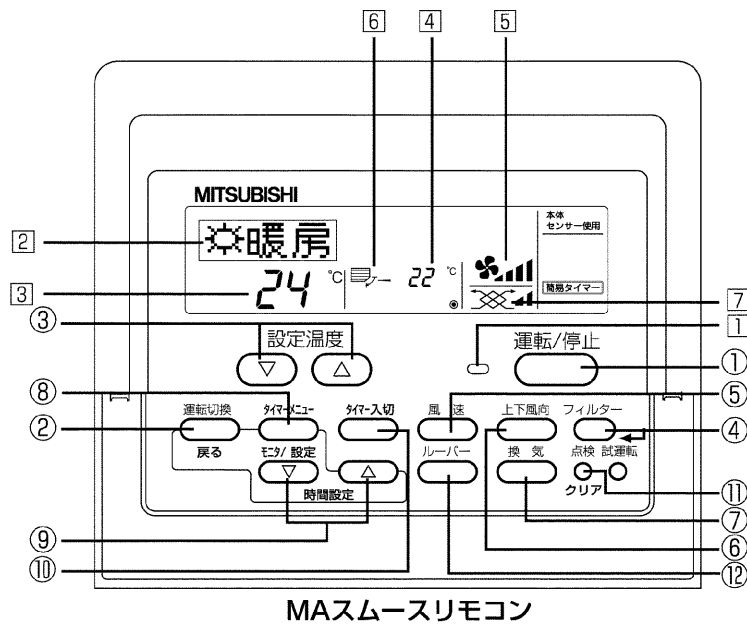


お知らせ

- 操作ボタンを押してもその機能が室内ユニットに装備されていない場合には“無効ボタン”と点灯表示が出ます。
- 1台のリモコンで複数の室内ユニットを操作している場合、代表の室内ユニットが機能を装備していれば、表示されません。

3. 運転のしかた

(1) 運転／停止と運転モード、室温調節のしかた



運転モード表示

- 冷房
- ドライ ※自動(冷房)/自動(暖房)モードは 設定できません。自動モード設定時、冷房/暖房の運転が確定した後に表示されます。
- 送風
- 自動
- 冷房 (自動冷房モード)
- 暖房 (自動暖房モード)
- 暖房

運転状態表示

暖房準備中

暖房 ↔ 準備中 交互に表示

霜取中

暖房 ↔ 霜取中 交互に表示

運転を開始するとき

- (運転／停止) ボタン①を押す。
- 運転ランプ ① と表示部が点灯します。

お知らせ ●再運転は、下記運転内容となります。

		リモコン設定内容	
運転モード		前回運転モード	
温度設定		前回設定温度	
風速		前回設定風速	
上下風向	運転モード	冷房・ドライ	水平吹出し*
		暖房	前回設定
		送風・換気	水平吹出し*

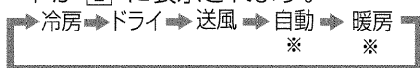
*PLFY-P・LMD(H)-E1形は前回設定となります。

運転を停止するとき

- (運転／停止) ボタン①を押す。
- 運転ランプ ① と表示部が消えます。

運転モードを選ぶとき

- 運転中に (運転切換) ボタン②を押す。
- 1回押すごとに設定が切り替わります。
- 運転モードが ② に表示されます。



お知らせ

- 室外ユニットの機種により、自動・暖房機能がない場合があります。
- PFFY-P・DM-E1形は、ドライモードはありません。
- 自動運転の場合、設定温度より室温が高いときは冷房運転を、室内温度が低いときは暖房運転を開始します。
- リモコン機能選択で“自動モード使用なし”が選択されている場合は、自動モードは表示されません。

設定温度を変えたいとき

- 室温を下げたいとき… 設定温度ボタン③を押す。
- 室温を上げたいとき… 設定温度ボタン③を押す。
- 1回押すごとに設定温度を1℃変えられます。
- 設定温度が ③ に表示されます。
- 設定できる指定温度は次のとおりです。

冷房・ドライ運転	暖房運転	自動運転	送風・換気
19~30℃	17~28℃	19~28℃	設定できません

- リモコン機能選択で温度範囲が制限されている場合、可変できる温度範囲が狭くなります。範囲を超えて設定しようとした場合、制限中であることが表示されます。

室温表示

運転中の吸込温度が ④ に表示されます。

お知らせ

- 表示範囲は8~39℃で、これを超える場合は8℃、または39℃で点滅します。
- 複数台の室内ユニットを操作する場合は、リモコンへの表示は、代表室内ユニット(親機)の内容が表示されます。
- 室温センサー位置は、“本体”と“リモコン”が選択できます。初期設定は、“本体”となっております。室温センサー位置を“リモコン”に変更される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- リモコン機能選択で“室温表示なし”が選択されている場合は、室温は表示されません。

(2) 風速・風向調節と換気運転のしかた

風速を変えたいとき

- 運転中に(風速)ボタン⑤を押す。
 - 1回押すごとに以下のように設定が切りかわります。風速が[5]に表示されます。
 - 設定できる風速は次のとおりです。

風速	リモコン表示
2段階機種	

※機種により設定できる風速が異なります。

お知らせ

- このようなときは、液晶表示とユニットの風速が異なります。
 1. “暖房準備中”・“霜取中”表示のとき
 2. 暖房運転直後（モード切換待機中）
 3. 暖房モードで設定温度より室温が高いとき
 4. ドライ運転時

上下風向を変えたいとき

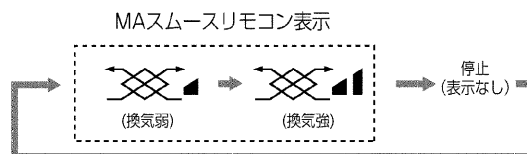
- PLFY-P・CLMD-E1シリーズは風向調整できません。

換気運転のしかた

- 室内ユニットと連動して換気装置を運転するとき
室内ユニットを運転したとき、自動的に換気装置も運転します。換気運転が[7]に表示されます。
- 室内ユニットを停止中に換気装置のみを運転するとき
 - 停止中に(換気)ボタン⑦を押す。
運転ランプ[1]と換気運転が[7]に表示されます。

- 換気操作の風速を変えたいとき

- (換気)ボタン⑦を押す。
1回押すごとに以下のように切りかわります。

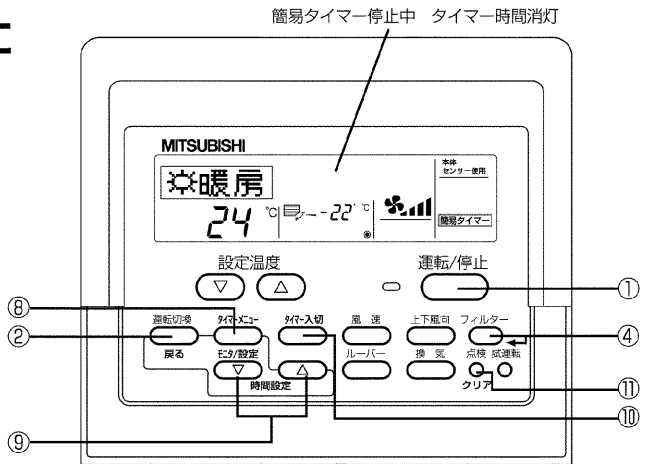


お知らせ

- 室内ユニットと換気装置の機種により、換気装置のみを運転した場合でも室内ユニットのファンが動作する場合があります。
- (換気)ボタン⑦を押したとき、“無効ボタン”の表示が点灯する場合は、換気装置が連動接続されていません。

(3) 簡易タイマー運転のしかた

- 簡易タイマー運転には次の3つの方法があります。
 - 入タイマー運転 : 運転開始時間のみをタイマーで行う。
 - 切タイマー運転 : 運転終了時間のみをタイマーで行う。
 - 入切タイマー運転 : 運転開始/終了時間をタイマーで行う。
- 簡易タイマー運転の設定は、72時間以内に入・切各1回以内です。設定時間は、1時間単位です。
- タイマー運転中には、簡易タイマーの他に消忘れ防止タイマーを選択することが可能です。(MAスムーズリモコンのとき) 消忘れ防止タイマーの選択/設定方法は、次ページ『(4)消忘れ防止タイマー運転のしかた』、P13,P14の『(7)リモコンの機能選択のしかた』、または、リモコンに付属の据付工事説明書、取扱説明書を参照してください。

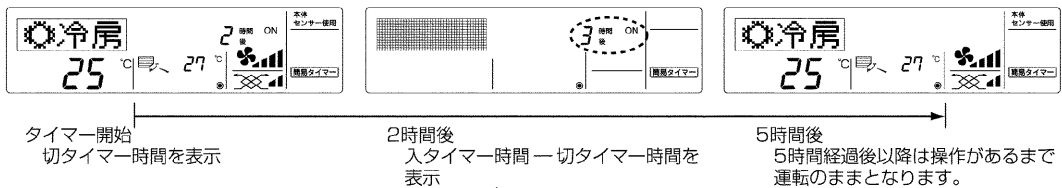


タイマー設定表示例 ※補足 入タイマー、切タイマーの両方が設定されている場合の表示切換について。

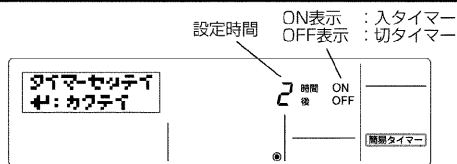
例1) 入タイマーから開始する場合 【入タイマー設定時間：3時間後ON 切タイマー設定時間：7時間後OFF の場合】



例2) 切タイマーから開始する場合 【入タイマー設定時間：5時間後ON 切タイマー設定時間：2時間後OFF の場合】



簡易タイマーの設定のしかた



1. 液晶に「簡易タイマー」が表示されていることを確認します。
2. (タイマーメニュー) (ボタン⑧) を押し、「タイマーセッテイ」表示とします。ボタンを押す毎に、「タイマーモニター」と「タイマーセッテイ」の表示が切り替わります。
3. (運転/停止) (ボタン①) を押し、運転開始時間、運転終了時間の設定表示とします。ボタン①を押す毎に、「時間後 ON」と「時間後 OFF」の表示が切り替わります。
 - ・入タイマー(運転開始時間の設定表示) : 「時間後 ON」
 - ・切タイマー(運転終了時間の設定表示) : 「時間後 OFF」
4. (時間設定) (ボタン⑨) を押し、入タイマー(運転開始時間)または切タイマー(運転終了時間)を設定し、(フィルター) (← ボタン④) を押し時間を確定させます。
 - ・入タイマーまたは切タイマーのどちらか一方のみを設定される場合は、使用しないタイマー設定の時間は「--」表示の状態としてください。
 - ・設定範囲時間 : 1~72時間
 - 設定した時間を取消すときは、(点検(クリア)) (ボタン⑩) を押し、時間を「--」表示とさせた後、(フィルター) (← ボタン④) を押し確定させてください。

お知らせ

- 確定せずに(運転切換) (ボタン②) を押すことにより入力した内容をキャンセルできます。

5. 入切タイマーを両方使用するとき、2,3.で運転開始/運転終了時間の両方の設定を行ってください。
 - ・入切タイマーを同時間に設定することはできません。
 - 入タイマーまたは切タイマーのどちらか一方のみを設定される場合は、使用しないタイマー設定の時間は「--」表示の状態としてください。
6. (運転切換) (ボタン②) で、タイマー設定が完了します。
7. (タイマー入切) (ボタン⑩) を押しとタイマー運転が開始され、設定された時間が表示されます。

簡易タイマー設定を確認するとき



1. 液晶に「簡易タイマー」が表示されていることを確認します。
2. (タイマーメニュー) (ボタン⑧) を押し、「タイマーモニター」表示とします。ボタンを押す毎に、「タイマーモニター」と「タイマーセッテイ」の表示が切り替わります。
 - ・設定されている入タイマーまたは切タイマー時間が表示されます。
 - 入切タイマーを両方設定されているときは、両方の設定を交互に表示されます。
3. (運転切換) (ボタン②) を押しと、タイマーモニター表示が終了し、通常画面に戻ります。
 - ・ボタンを押さない場合も、約1分で自動的に通常画面に戻ります。

簡易タイマー運転を解除(停止)するとき

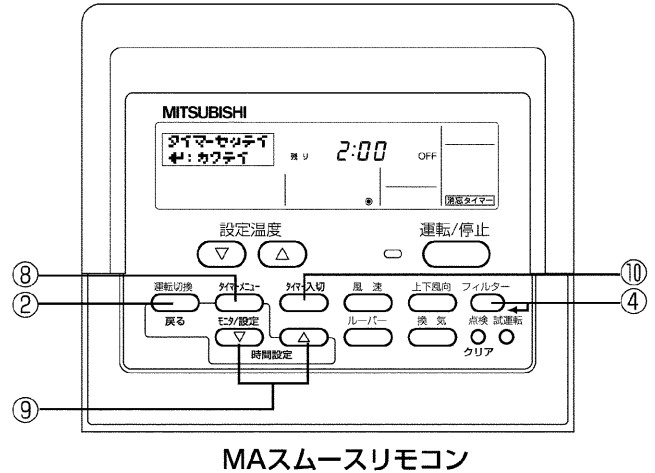
- (タイマー入切) (ボタン⑩) を押し、タイマー設定した時間表示を消した状態とします。

(4) 消忘れ防止タイマー運転のしかた

- 消忘れ防止タイマーは運転開始後、設定された時間が経過したときに自動的に空調機を停止させます。
- 消忘れ防止タイマー設定時は、簡易タイマーの設定はできません。
- 消忘れ防止タイマー運転の設定範囲は、30分～4時間です。(設定時間は30分単位で)

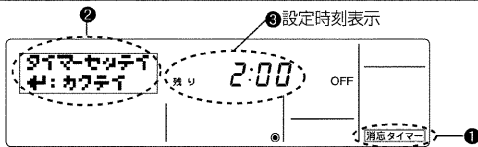
お知らせ

- 下記の場合、タイマー運転は実行されません。
「タイマー停止中」「異常中」「試運転中」「リモコン診断中」「機能選択中」「タイマー設定中」「集中管理中(運転/停止操作禁止)」
※簡易タイマー設定中も同様です。



MAスムーズリモコン

消忘れ防止タイマーの設定のしかた



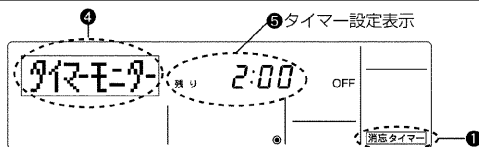
1. 液晶に「消忘れタイマー」が表示 ① されていることを確認します。
2. 「タイマーメニュー」(ボタン⑧)を3秒押し、「設定画面」表示 ② とします。ボタンを押す毎に、「モニター画面」と「設定画面」の表示が切り替わります。
3. 「時間設定」(ボタン⑨)を押して、切タイマー(運転終了時間) ③ を設定します。
4. 「フィルター」(← ボタン④)を押して時間を確定させます。

お知らせ

- 確定せずに「運転切換」(ボタン②)を押すことにより入力した内容をキャンセルできます。

5. 「運転切換」(ボタン②)で通常画面に戻し、タイマー設定が完了します。
6. 空調機が運転状態になると、消忘れ防止タイマー運転開始となり、設定された時間が表示されタイマー運転を開始します。
必ずご確認ください。

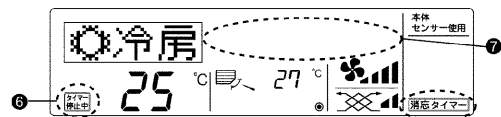
消忘れ防止タイマー設定を確認するとき



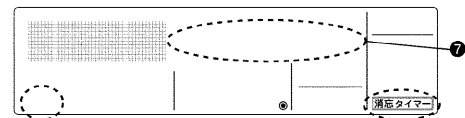
1. 液晶に「消忘れタイマー」が表示 ① されていることを確認します。
2. 「タイマーメニュー」(ボタン⑧)を3秒押し、「モニター画面」表示 ④ とします。
・設定されている切タイマー時間が表示 ⑤ されます。
3. 「運転切換」(ボタン②)を押すと、タイマーモニター表示が終了し、通常画面に戻ります。

消忘れ防止タイマーを解除(停止)するとき

- 「タイマー入切」(ボタン⑩)を3秒押し、「タイマー停止中」を表示 ⑥。タイマー実行時間表示 ⑦ を消灯させます。

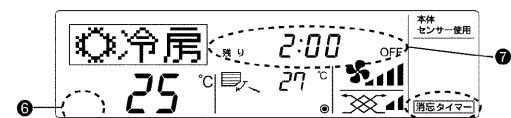


- 空調機を停止させ、タイマー実行時間表示 ⑦ を消灯させます。



消忘れ防止タイマーを運転するとき

- タイマー停止中に「タイマー入切」(ボタン⑩)を3秒押し、「タイマー停止中」を消灯⑥、「タイマー実行時間」を点灯表示 ⑦ させます。
- 空調機を運転させ、「タイマー実行時間」を点灯させます。



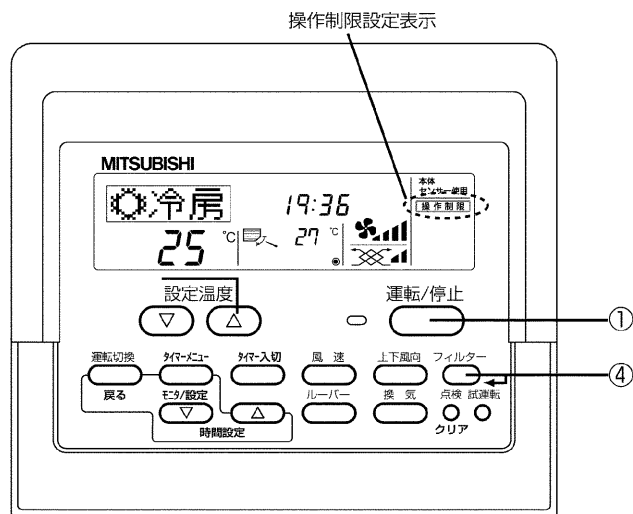
(5) 操作ロックのしかた

■簡易的にリモコンのボタン操作をロックすることができます。(操作ロックの機能には次の2つがあります。) リモコン機能選択で設定します。 リモコン機能選択での設定方法については、P13,14の『(7)リモコンの機能選択のしかた』を参照してください。

- ①全ボタンロック
リモコンの全てのボタン操作をロックします。
- ②(運転/停止)ボタン以外ロック
(運転/停止)ボタン以外の操作をロックします。

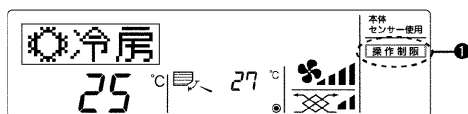
お知らせ

- 操作ロック設定されている場合は、操作制限が点灯表示します。



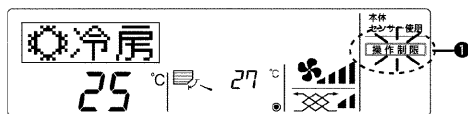
操作ロック設定のしかた

1. (フィルター) (← ボタン④) を押しながら、(運転/停止) (ボタン①) を2秒押しして操作制限 ① を点灯させます。



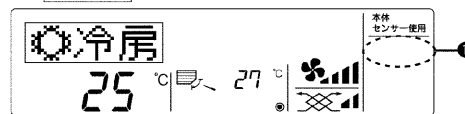
※リモコン機能選択で、“操作ロック設定なし”が選択されている場合は“無効ボタン”が点灯表示します。

2. 操作ロック中に、ボタン操作をしますと、操作制限 ① が点滅表示します。



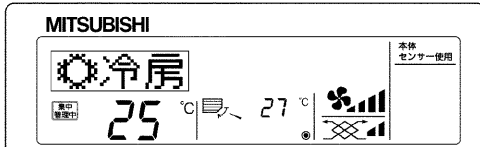
操作ロック設定解除のしかた

1. (フィルター) (← ボタン④) を押しながら、(運転/停止) (ボタン①) を2秒押しして操作制限 ① を消灯させます。



(6) その他の表示・点滅について

集中管理中表示



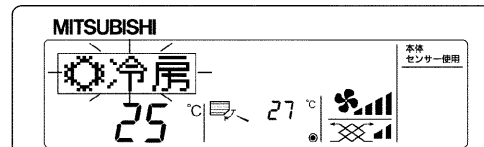
- 集中コントローラー等で、操作を制限しているときに表示します。制限される操作は以下のとおりです。

- ・運転/停止
- ・運転モード
- ・設定温度

お知らせ

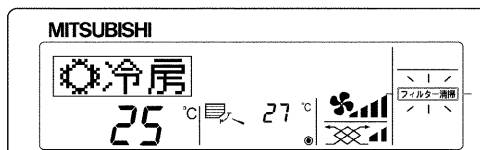
- 個々に制限される場合もあります。
- 氷蓄熱機種で夜間蓄冷熱運転している場合に表示します。

運転モードの点滅



- 点滅のままの場合
室外ユニットに接続された他の室内ユニットが、すでに異なる運転モードで運転している場合に表示します。他の室内ユニットの運転モードに合わせてください。
- 点滅した後モードが切替わる場合
集中コントローラー等で、運転モードの操作をシーズン毎に制限しているときに表示します。他の運転モードをご使用ください。

フィルター清掃の点滅

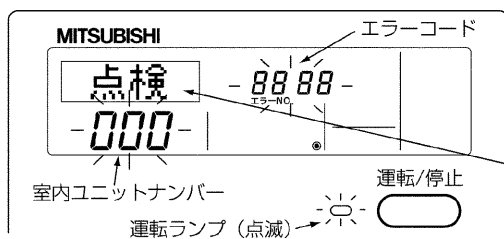


- フィルター清掃時期をお知らせします。フィルター清掃を実施してください。
- “フィルター清掃”表示をリセットする場合
フィルター清掃後、(フィルター)ボタンを2度押すと表示が消えリセットされます。

お知らせ

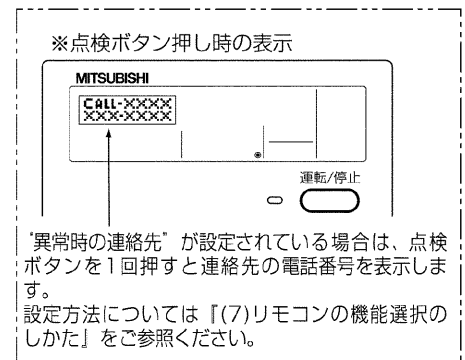
- 2台以上の形で異なる室内ユニットを操作する場合、フィルターの種類によって、清掃時期が異なります。代表機種(親機)の清掃時期が来ると“フィルター清掃”表示されます。また、フィルター表示を消すと、全ての積算時間がリセットされます。
- “フィルター清掃”表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を目安時間で表示しているものです。環境条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。
- フィルター清掃時期の積算時間は、機種により異なります。

エラーコードの点滅

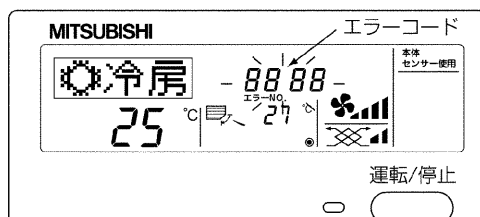


“異常時の連絡先”が設定されている場合は、異常時に連絡先の電話番号が表示されます。設定方法については『(7)リモコンの機能選択のしかた』をご参照ください。

- 「運転ランプ」と「エラーコード」の両方が点滅している場合は、空調機に障害が発生し、運転を継続できずに停止しています。ユニットナンバー、エラーコードを確認のうえ、空調機の電源を切り、お買い上げの販売店、または工事店にサービスをお申しつけください。



“異常時の連絡先”が設定されている場合は、点検ボタンを1回押すと連絡先の電話番号を表示します。設定方法については『(7)リモコンの機能選択のしかた』をご参照ください。



- 「エラーコード」のみが点滅している場合（運転ランプは点灯したまま）、空調機は運転を継続していますが、障害が発生している可能性があります。エラーコードを確認のうえ、お買い上げの販売店、または工事店にサービスをお申しつけください。

(7) リモコンの機能選択のしかた

リモコン機能選択モードでは下記の機能を設定変更できます。必要に応じ、設定変更をしてください。

大項目	中項目	小項目 (設定内容)
1. 言語切換 (CHANGE LANGUAGE)	表示する言語の設定を行います。	・他言語表示ができます。
2. 機能制限	(1)操作制限機能設定 (操作ロック)	・操作制限 (操作ロック) の範囲を設定します。
	(2)自動モード使用設定	・運転モードの「自動」使用有無を設定にします。
	(3)温度範囲制限設定	・温度調節範囲 (上限・下限値) を設定します。
3. 基本機能	(1)リモコン主/従設定	・主リモコン、従リモコンを切替えます。 ※1グループ2台接続時どちらか一方を「従」設定にします。
	(2)時計使用設定	・時計機能の使用有無を設定します。 ※PAR-22MAでは本設定はできません。
	(3)タイマー機能設定	・使用するタイマーの種類を設定します。
	(4)異常時の連絡先設定	・異常発生時に連絡先の電話番号を表示させることができます。 ・電話番号の設定をします。
4. 表示切換	(1)温度表示℃/°F設定	・表示する温度単位 (°C/°F) を設定します。
	(2)吸込み温度表示設定	・室内(吸込み)温度表示の有無を設定にします。
	(3)自動冷暖表示設定	・自動モード運転時の「冷房」「暖房」表示有無を設定します。

【機能選択の流れ】

[1] 空調機を停止状態にして、リモコン機能選択モードに移行する ⇒ [2] 大項目を選択する ⇒ [3] 中項目を選択する ⇒ [4] 小項目 (内容を設定する) ⇒ [5] 設定完了 ⇒ [6] 通常画面に移行する (終了)

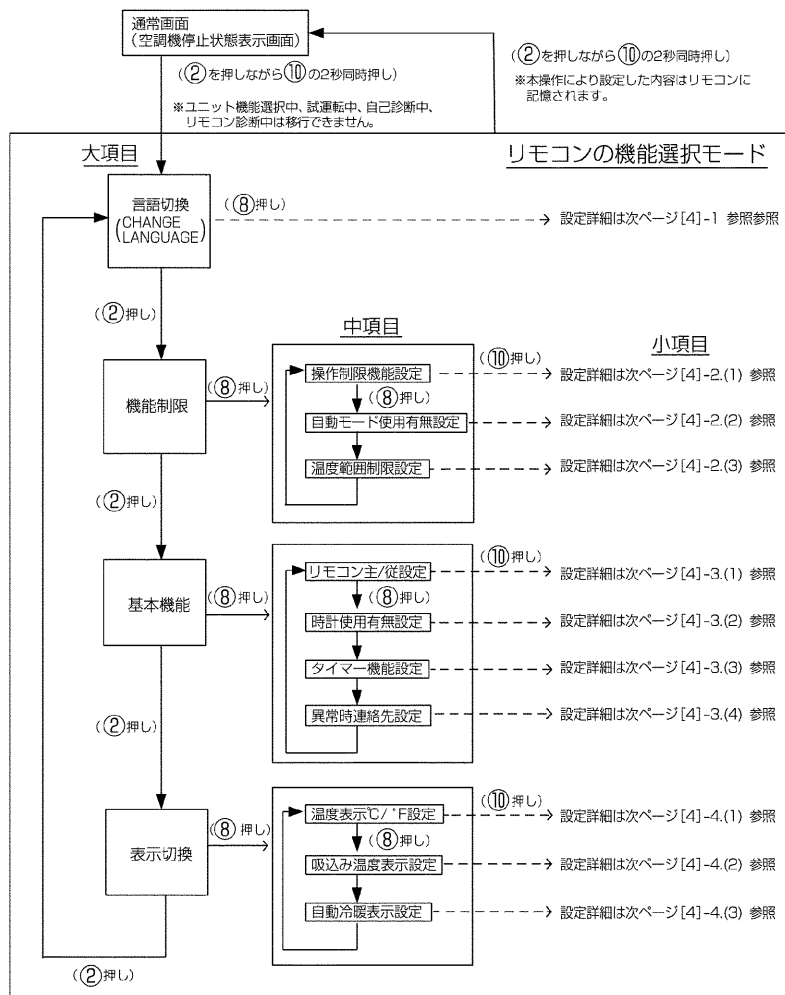


図 1

お知らせ

- リモコン機能選択から通常画面に移行すると、タイマー運転は停止となります。

ドット表示部 (ドット表示部は言語切換で設定した言語表示となります。本説明書は「日本語」設定の場合です。)

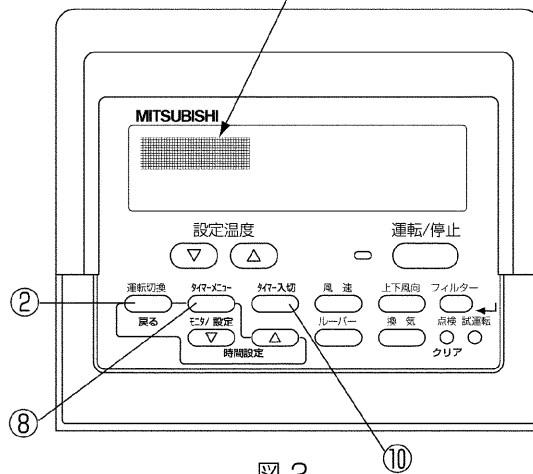


図 2

【設定詳細】

[4]-1.言語切替設定

本設定により、ドット表示部に表示する言語を設定します。

・タイマーメニューボタンを押して下記内容を切替えます。

- ①日本語(JP)、②英語(GB)、③ドイツ語(D)、④スペイン語(E)、⑤ロシア語(RU)、⑥イタリア語(I)、⑦中国語(CH)、⑧フランス語(F)

[4]-2.機能制限設定

(1)操作制限機能設定(操作ロック)

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。

- ①no1 : 運転/停止ボタン以外操作ロック設定となります。
②no2 : 全ボタン操作ロック設定となります。
③OFF(初期設定値) : 操作ロック設定なしとなります。

※通常画面にて操作ロックを実行するには、上記設定後に通常画面にて実行操作(フィルターボタンと運転/停止ボタン同時2秒押し)が必要です。

(2)自動モード使用設定

運転モード自動有りユニットに接続されている場合、下記内容の設定を行うことができます。

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。

- ①ON(初期設定値) : 運転モード選択操作時に自動モードを表示します。
②OFF : 運転モード選択操作時に自動モードを表示しません。

(3)温度範囲制限設定

設定内容変更後は、変更した範囲内で温度変更が可能となります。

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。

- ①冷房モード : 冷房・ドライモードでの設定温度範囲を変更します。
②暖房モード : 暖房モードでの設定温度範囲を変更できます。
③自動モード : 自動モードでの設定温度範囲を変更できます。
④OFF(初期設定値) : 温度範囲制限は実行されません。

※OFF以外が設定された場合、冷房、暖房、自動モードの温度制限設定が同時に実行されます。ただし、設定温度範囲が変更されていなければ制限は実行されません。

・設定温度▽ボタン、または設定温度△ボタンを押す毎に設定値がアップ、ダウンします。

・風速ボタンを押して上限値設定、下限値設定を選択を切替えます。選択された設定内容は点滅表示しており、この温度値を設定します。

・設定範囲

冷房・ドライモード	: 下限値:19℃~30℃	上限値:30℃~19℃
暖房モード	: 下限値:17℃~28℃	上限値:28℃~17℃
自動モード	: 上限値:19℃~28℃	下限値:28℃~19℃

※設定範囲は接続されるユニット(スリム機種、フリープラン機種、中温機種等)により異なります。

[4]-3.基本機能設定

(1)リモコン主/従設定

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。

- ①主 : 主設定となります。 ②従 : 従設定となります。

(2)時計使用設定

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。

- ①ON : 時計機能が使用可能となります。 ②OFF: 時計機能が使用不可となります。

(3)タイマー機能設定

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます(いずれか一つを選択)。

- ①タイマー消忘れ防止 : 消忘れタイマー使用可能となります。
②タイマー簡易(初期設定値、MAスムース時) : 簡易タイマー使用可能となります。
③タイマー無効 : タイマー未使用設定となります。

(4)異常時連絡先設定

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。

- ①CALL・OFF : 異常中に設定した電話番号は表示されません。
②CALL・0120 *** **** : 異常中に設定した電話番号を表示します。
CALL・_ : 左記表示時、電話番号を設定します。

・電話番号設定方法

設定時に下記設定操作により電話番号を設定します。点滅しているカーソル()を移動して、数字を設定してします。設定温度△(▽)ボタンを押してカーソルを右(左)に移動させます。時刻設定△ボタンまたは時刻設定▽ボタンを押して、番号を設定します。

[4]-4.表示切替設定

(1)温度表示℃/°F設定

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。

- ①℃ : 温度表示単位をセ氏表示にします。 ②°F : 温度表示単位を華氏表示にします。

(2)吸込み温度表示設定

・タイマー入切ボタンを押す毎に下記の順で設定する内容を切替えます。

- ①ON : 吸込み温度を表示します。 ②OFF : 吸込み温度は表示されません。

(3)自動冷暖表示設定

・タイマー入切ボタンを押す毎に下記の順で設定する内容を切替えます。

- ①ON : 自動モード運転時、「自動冷房」または「自動暖房」表示のどちらかが表示されます。
②OFF : 自動モード運転時、「自動」のみが表示されます。

上手な使い方

ほんのわずかな心がけで、冷房暖房効果、電気代などの点で一層効果的に使うことができます。

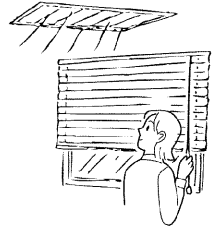
室内温度（室温）は最適に

- 冷房運転では室内と室外の温度差を5℃以内にするのが最適です。
- 冷やし過ぎは健康にもよくありません。電力のムダ使いにもなります。たとえば冷房のとき設定温度を1℃上げると約10%の電力が節約できます。



冷房時は熱の侵入を少なく

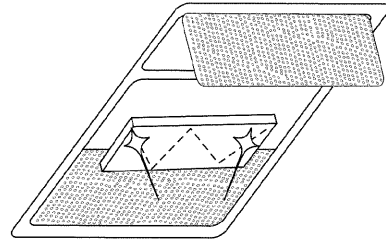
- 冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしましょう。
- 出入口は必要なとき以外は開けないようにしましょう。



プレフィルターの清掃はこまめに

プレフィルターの目詰まりは風の流れを少なくし、冷房・暖房効果を弱めます。さらに、そのまま放置しますと故障の原因になります。特に冷房・暖房シーズンのはじめには清掃してください。また、清掃期間の目安は、16頁を参照してください。

※フィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。



長時間直接お肌に風をあてない

- 長時間エアコンの風が直接身体にあたると体調を悪くしたり、健康障害の原因となります。
- 特に赤ちゃんや子供は大人に比べて敏感です。エアコンの風を直接肌にあてないでください。



中間期にはドライ運転を

- ムシムシすると感じるときは、空気中に含まれる水蒸気が多い状態です。湿度は温度や風との関係があり、快適と感じる湿度条件は夏で60～70%、冬では55～70%程度といわれています。
- ムシムシするとき、冷房運転では冷えすぎと感じるときがあります。ドライ運転をご利用ください。



ときどき換気を

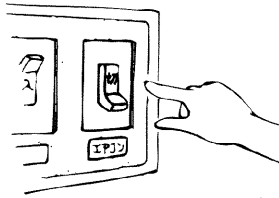
- 長時間、閉め切った部屋では空気が汚れますので、ときどき換気が必要です。
- 送風運転は、お部屋の空気を循環させるはたらきをします。
- 冷房・ドライ・暖房運転をしない中間期に換気扇との連動運転をしますと、より効果的な換気ができます。当社「ロスナイ換気扇」を利用しますとムダのない換気ができます。



4. お手入れのしかた

お手入れの前に

■必ず、電源を「切」にしてください。



プレフィルターの清掃

⚠注意

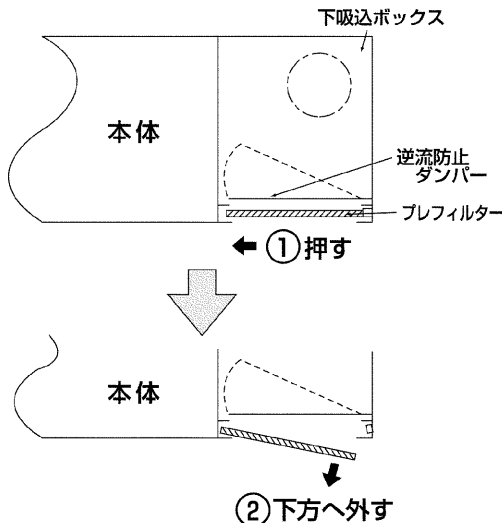
必ず電源を切り、運転停止状態で清掃を行ってください。内部のファンが回転したまま作業をするとケガの原因になります。

⚠注意

フィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。

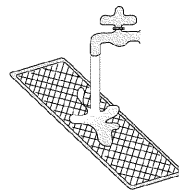
- 下吸込ボックスには、吸込空気のプレフィルターがあります。下図を参照して、プレフィルターを清掃してください。（プレフィルターはシーズン始めなどに清掃してください。）

(1)プレフィルターを取外す。



(2)プレフィルターを水洗いする。

- 中性洗剤を溶かしたぬるま湯か水でゆすぎ洗いし、その後、洗剤をよく洗い落としてください。洗った後は、乾燥させてから、元どおりに取付けてください。
- 熱い湯（約50℃以上）で洗うと、変形することがあります。



(3)水洗いしたあと、日陰でよく乾かす。

- プレフィルターは直接日光や直接火にあてて乾かさなでください。変形することがあります。

(4)プレフィルターを元の状態に取付ける。（取外しの逆の手順）

⚠注意

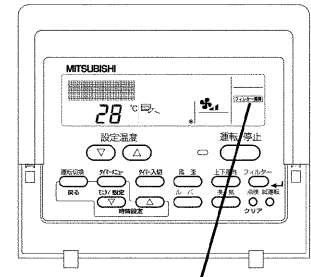
エアコンには、水をかけたり、可燃性スプレーなどを吹きつけたりしないでください。水をかけたり、可燃性スプレーなどを吹きつけて清掃すると、エアコンの故障や感電・火災の原因になります。

プレフィルター清掃時期がくると

リモコンに“フィルター清掃”（プレフィルタークリーニングサイン）表示を点滅させてお知らせします。

- フィルター清掃時期の積算時間は室内ユニットにより異なります。

室内ユニット	積算時間
PLFY-P・CLMD-E1形	2500時間



プレフィルタークリーニングサイン

- “フィルター清掃”表示は、下吸込ボックスの吸込口に取付けられたプレフィルターのことで

“フィルター”表示をリセットする

- (1)プレフィルター清掃後（フィルター）ボタンを2度押しと表示が消えリセットされます。

- 2台以上の形で異なる室内ユニットを操作する場合、フィルターの種類によって、清掃時期が異なります。代表機種（親機）の清掃時期が来ると“フィルター清掃”表示されます。また、フィルター表示を消すと、全ての積算時間がリセットされます。

- “フィルター清掃”表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を目安時間に表示しているものです。環境条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。

⚠注意

プレフィルターの清掃は、こまめに行ってください。汚れたまま運転すると、能力の低下や故障の原因になります。

HEPAフィルターの交換

- HEPAフィルターは、下表の前後差圧を目安にして、交換してください。
(終期圧損の目安は、初期圧損の約1.5倍です。)

形名		P36形	P45・56形	P71・80形
HEPAフィルター 前後差圧	初期	130Pa	120Pa	105Pa
	終期	195Pa	180Pa	160Pa

⚠警告

危険防止のためフィルターの取付け、取外し作業の途中で手を離すなどの行為はしないでください。
HEPAフィルターは重量物です。作業中の落下防止を十分に行ってください。

⚠注意

HEPAフィルターの圧損が増大すると、風量や冷暖房能力が減少しますので、ご注意ください。

⚠注意

フィルターの交換は専門の業者に依頼してください。

- 室内ユニットには、HEPAフィルター前後差圧計測のため、ピトー管取付穴が設けてあります。

◆HEPAフィルターの脱着

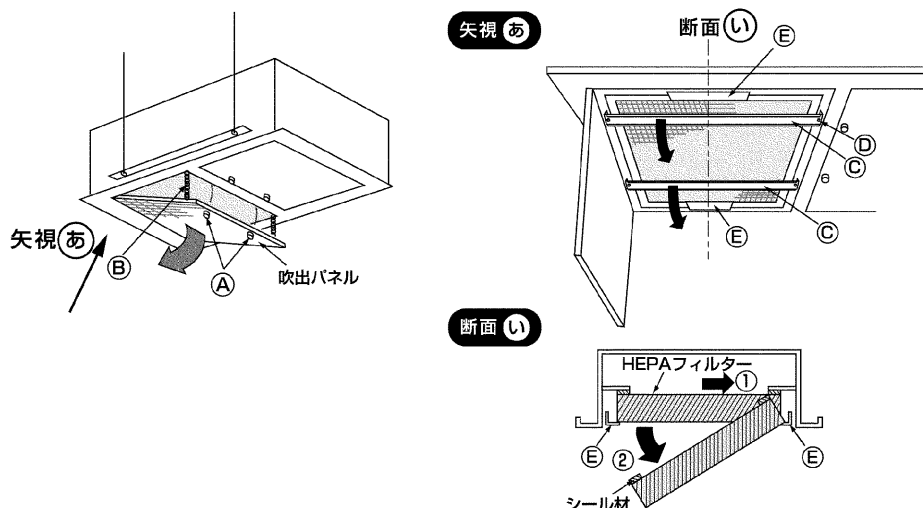
【はずしかた】

- ①吹出パネルのツマミネジ **(A)** (2カ所) を緩めて、吹出パネルを下方に開いてください。
- ②パネルの落下防止用チェーン **(B)** を取外してください。
- ③HEPAフィルターの締付板 **(C)** の六角ボルト (十字型ネジ山有) **(D)** (4カ所) を緩めてください。
- ④締付板 **(C)** とHEPAフィルターの枠が離れたら、締付板 **(C)** を取外してください。
このとき、HEPAフィルターがフィルター支え **(E)** に載っていることを確認してください。
- ⑤HEPAフィルターの落下に注意して、図の方向 (断面①参照) にHEPAフィルターを取外してください。

【とりつけかた】

上記【はずしかた】の逆の順序で取付けてください。

- ①フィルター支え **(E)** には、HEPAフィルターの枠が左右均等に載っていることを確認してから、締付板 **(C)** を六角ボルト **(D)** で取付けてください。また、上下方向に注意してください。
- ②締付板 **(C)** は、HEPAフィルターの枠が水平になるように六角ボルト **(D)** をしっかりと締め付けてください。



⚠注意

HEPAフィルターを取外すときは、室内の清浄度に影響が出ないように、慎重に行ってください。
また、踏み台に乗って行うときは、転倒しないように注意してください。

5. こんなときには・・・ Q&A

●動かない！

- リモコンの運転表示が点灯しない。
 ■電源が入っていないことが考えられます。電源をご確認ください。ユニットの電源が入っていないと、リモコンに通電表示（●）が点灯しません。
- リモコン表示部に“集中管理中”の表示がでている。
 ■集中コントローラー等で、操作を制限されている場合に表示します。
 ■氷蓄熱機種で夜間蓄冷熱運転している場合に表示します。

●勝手に動き出した！

- 運転・停止ボタンを押さないのに動き出した。
 ■リモコンで入タイマー運転を設定されていると指定された時刻に自動的に運転を開始します。
 ■集中コントローラー等で、操作した場合に運転を開始します。
 ■電源発停機能に設定している場合、室内ユニットの電源を入れると自動的に運転を開始します。
 ■停電自動復帰機能に設定している場合は、運転中に停電または電源を切ったとき電源を入れると、自動的に運転を開始します。
 ※電源発停機能および停電自動復帰機能を使用しない場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。
 ■室内ユニットの露付き防止のため、停止中にファンが運転することがあります。この場合、室内ユニットの膨張弁が完全に閉まっていないことが考えられます。通常の運転には差し支えありませんが、念のためお買い上げ販売店にご相談ください。

●勝手に停止した！

- 運転・停止ボタンを押さないのに停止した。
 ■リモコンで切タイマー運転を設定されていると指定された時刻に自動的に運転を停止します。運転・停止ボタンを押して運転を再開してください。
 ■集中コントローラー等で、操作した場合に運転を停止します。

●よく冷えない、暖まらない！

- よく冷えない。よく暖まらない。
 ■温度調節を確認して、設定温度を調節してください。
 ■フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下している場合は、フィルターの清掃をしてください。
 ■室内ユニットの吹出し口・吸込み口が塞がれている場合は、室内ユニット周囲空間を広く開けてください。
- 再運転のために停止後すぐに運転・停止ボタンを押したがすぐ冷房（暖房）運転しない。
 ■空調機を保護するため、マイコンの指示で止まっています。再運転をした場合は、冷房（暖房）運転するまで約3分間お待ちください。

●音がする！

- 水の流れるような音や時々“プシュ”と音がする。
 ■ユニット内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切替わるときの音です。異常ではありません。
 ※もし気になるような音の場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。
- “ピシッ、ピシッ”という音がする。
 ■温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。異常ではありません。
 ※もし気になるような音の場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。
- 排水音やモーターの回転音がする
 ■冷房運転停止後約3分間、ドレンアップメカを運転してから停止するためです。
 ■運転を停止中でも他の室内ユニットが冷房運転をしている場合、ドレン水が発生します。ドレン水が溜まるとドレンアップメカを運転し、排水を行うためです。
 ※1時間に2～3回以上の場合、サービスをお申しつけください。
- 騒音が仕様値よりも高い
 ■室内の運動音は反響などにより、無響音室で測定した仕様値よりも、一般的につぎに示します値程度高くなります。

	吸音効果の高い部屋	普通の部屋	吸音効果の低い部屋
一般例	放送スタジオ、音楽室等	応接室、ホテルロビー等	オフィス、ビジネスホテル等
騒音アップ値	3～7dB	6～10dB	9～13dB

6. 保証とアフターサービス

■保証書は室外ユニットに添付しております。

■ご不明な点や修理に関するご相談はお客様相談窓口（別添）にお問い合わせください。

■機器予防保全の目安【**保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。**】

下記は、以下のご使用条件の場合です。

- ① 頻繁な発停のない、通常のご使用状態である事。（機種によって異なりますが、通常のご使用における発停の回数は、6回/時間以下を目安としています。）
 - ② 製品の運転時間は、10時間/日、2,500時間/年と仮定しています。（氷蓄熱など夜間に運転するものはこれより長くなる場合があります。）
- また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。
- ① 温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
 - ② 電源変動（電圧、周波数、波形歪みなど）が大きい場所でご使用される場合。（許容範囲外での使用はできません）
 - ③ 振動、衝撃が多い場所に設置されご使用される場合。
 - ④ 塵埃、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミストなど良くない雰囲気でご使用される場合。
 - ⑤ 頻繁な発停のある場所、運転時間が長い場所。（24時間空調など）

表-1. 「点検周期」および「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]	主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1年	20,000時間	膨張弁	1年	20,000時間
モーター (ファン、ルーバー、ドレンポンプなど)		20,000時間	バルブ (電磁弁、四方弁など)		20,000時間
ベアリング		15,000時間	センサー (サーミスター、圧力センサーなど)		5年
電子基板類		25,000時間	ドレンパン		8年
熱交換器		5年			

- 注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
 注2. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。
 また保守点検契約の内容によっては本表よりも、点検・保全の周期が短い場合があります。

- 定期点検実施の場合でも予期できない突発的偶発故障が発生する事があります。この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。
- 電気部品に絶対に水（洗浄水など）をかけないでください。感電、発煙、発火の原因となります。
- 補修用品の保有期間について
 このエアコンの補修用品の最低保有期間は、製造打ち切り後9年間となっています。この期間は通商産業省の指導によるものですが、当社はこの基準により補修用品を調達したうえ修理によって性能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理を実施致します。

■消耗部品の交換周期目安【**交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。**】

表-2. 「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期	主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1年	5年	ヒューズ	1年	10年
高性能フィルター		1年	加湿エレメント		5年
ファンベルト		5,000時間	クランクケースヒーター		8年
平滑コンデンサー		10年			

- 注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
 注2. この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）のためにお役立てください。

■アフターサービスご契約のおすすめ

- 当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検を致します。万一の故障時も早期に見出し適切な処置を行う事ができます。

■保証書について[保証期間は、お買い上げ日または据付日または試運転完了日から起算して1年間です。]

- 保証書はお買い上げの店で所定事項を記入しお渡ししますので、記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- 保証期間中、万一故障した時は、お買い上げの店または指定のサービス店にご連絡ください。
保証書の記載事項に基づいて1年間は無償修理致します。[保証期間経過後の修理は有償になります。]
保証期間中でも有償になる場合もありますので、保証書をよくお読みください。
- 良好な状態で長く安心してご使用いただくために、お客さまに実施していただく日常点検（フィルター清掃など）以外に専門技術者による定期的な保守点検を実施してください。
標準的な保守点検の、「点検周期」および定期点検に伴う「保全周期」[主要部品の交換・修理実施周期]は、表-1を目安にされると便利です。また、代表的「消耗部品」の例を表-2に示します。
なお、保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時によくお確かめください。

■移設および廃棄について

- 転居などでエアコンを移動再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。
- エアコンを廃棄される時は冷媒の回収などが必要ですので、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。

7. 移設・工事・点検について

■移設について

- ①増改築・引越のためエアコンを取外したり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますので、あらかじめ販売店にご相談ください。
- ②据付けや移設時に冷媒を追加充てんする場合は、指定冷媒以外のものを混入させないでください。

■設置場所について

- ①設置・移設する場合は、販売店または専門業者にご相談ください。
- ②可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わないでください。
万一ガスが漏れて、ユニットの周囲に溜まると発火の原因になります。
- ③次の場所への据付けは避けてください。
 - ・機械油の多いところ
 - ・湿気の多い場所
 - ・硫化ガスのあるところ
 - ・酸性の溶液を頻繁に使用するところ
 - ・海浜地区など塩分の多いところ
 - ・温泉地帯
 - ・高周波加工機のあるところ
 - ・特殊なスプレーを頻繁に使用するところなど、エアコンの周囲雰囲気特殊な場所で使用しますと、多くの場合エアコンの故障のもとになります。
詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ④室内ユニットは必ず水平に据付けてください。水たれなどの原因となります。
- ⑤病院・通信事業所などに据付けされる場合は、ノイズ発生源を遮断して施工してください。

■保守点検契約のおすすめ

- エアコンを数シーズンご使用になりますと内部が汚れ、性能が低下することがあります。ご使用状態によっては臭いが発生したり、ゴミ、ホコリなどにより除湿水の排水が悪くなることがあります。通常のお手入れとは別に保守点検契約（有料）をおすすめします。

■電気工事について

- ①電気工事は、電気工事士の資格がある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付工事説明書に従って施工してください。
- ②電源はエアコン専用の回路を設けているか販売店にご確認ください。他の電気製品と回路を共用しますと、ブレーカーやヒューズが切れることがあります。
- ③万一の感電防止のため、アースを取付けてください。
詳しくはお買い上げの販売店にご確認ください。
- ④据付場所によっては、漏電ブレーカーの取付けが義務付けられています。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ⑤ブレーカー・ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください。

■騒音にもご配慮を

- ①据付けにあたっては、エアコンの重量に十分耐える場所で騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。
- ②室外ユニットの吹出口からの冷温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
- ③室外ユニットの吹出口の近くに物を置きますと、性能低下や騒音増大のもとになりますので、吹出口付近には障害物を置かないでください。
- ④エアコンをご使用中、異常音がする場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

8. 仕 様

【室内ユニット仕様表】

●PLFY-P・CLMD-E1シリーズ

		PLFY-P36CLMD-E1	PLFY-P45CLMD-E1	PLFY-P56CLMD-E1	PLFY-P71CLMD-E1	PLFY-P80CLMD-E1
電 源		単相 200V 50/60Hz				
冷房能力	(kW)	3.6	4.5	5.6	7.1	8.0
暖房能力	(kW)	4.0	5.0	6.3	8.0	9.0
外形寸法	高さ	本体460/パネル35				
	幅	本体840/パネル960	本体995/パネル1115		本体1300/パネル1420	
	奥行	本体1300/パネル1420 (本体1700/パネル1820)				
風量 強・弱	(m ³ /min)	18-15	20-17		24-20	
騒音値 強・弱	(dB)	39-37	40-38.5		42-39	
製品質量 本体/パネル	(kg)	100/18 (113/25)	110/22 (126/31)		130/28 (150/39)	

注1. 奥行き寸法の（ ）内は、下吸込ボックス装置時の数値を示します。

2. 上記仕様値は、標準機外静圧がP36～P56形は38Pa時、P71,P80形は28Pa時の値です。

3. 製品質量の（ ）内は、（下吸込ボックス装着時の本体質量/下吸込化粧パネル）の値です。

本体質量はHEPAフィルターの質量を含んでいます。

4. 騒音値はA特性値です。

【使用範囲】

各機種シリーズの室内外ユニットの使用温度範囲は、以下記載のとおりです。ご使用になっている製品をお確かめのうえ、使用範囲をご確認ください。

⚠注意

使用温湿度の範囲から外れたところで使用しますと、重大な故障の原因になります。

●インバーターYシリーズ（システムにより、室外ユニットの使用温度範囲は異なります。）

- ・ 室外ユニット 冷房時：乾球温度 -5℃～43℃ 暖房時：湿球温度 -12℃～15.5℃
- ・ 室内ユニット 冷房時：湿球温度 15℃～24℃ 暖房時：乾球温度 15℃～27℃

注) 室内外共使用可能な湿度目安としては、相対湿度30～80%の範囲内でご使用ください。

愛情点検

●長年ご使用のエアコンの点検を！

エアコン補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後9年です。



ご使用の際、
このようなことは
ありませんか？

- 運転音が異常に大きくなる。
- 室内ユニットから水が漏れる。
- 電源が頻繁に落ちる。
- その他の異常や故障がある。

ご
使用
中

故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

後日のために記入しておくとう便利です。

お買い上げ店名

電話

お買い上げ(据付)日

年

月

日

三菱電機株式会社

〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)
〒640-8686 和歌山市手平6-5-66 冷熱システム製作所 (073) 436-2111